

「令和3年度自主防災組織等のリーダー育成のための研修会」実施支援事業における  
「自主防災組織担当職員向け研修会」（島根県）

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
						詳細	計	
1 限目 災害発生 の危険性と 避難	1	発災の直前・ 直後に命を 守る<B11>	1	災害時にとるべき行動（全 般）<C26>	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の 流れを学ぶ。	5	60	どのような状況になっ たら避難判断をし、ど のような対応をするか 整理。 ハザードマップ等を用 いて、避難先と避難経 路を検討。避難行動上 のポイントを整理。
			2	避難に関する情報の収集 <C27>	気象に関する情報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方 法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避 難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	25		
			3	安全な避難行動<C28>	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や 避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住 民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	30		
2 限目 被害を最小限 とするための 取り組みと地 域に対する防 災知識の普及	1	わがまち（地 域）の防災体 制をつくる <B8>	1	地域の情報収集・伝達 <C20>	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の種類や内容、災害時における課 題、体制づくりの必要性について学ぶ。	20	60	どんな人が要配慮者 か、避難時にどんなこ とに困るか、その対応 のポイントを整理。
			2	要配慮者の地域ぐるみでの 支援体制<C22>	要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等）と避難 行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時にお ける要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの 方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成について学ぶ。（避難行動要 支援者への避難支援も含む。）	40		

※Zoomミーティングを使用したオンライン研修会のため、グループワークの実施を含んだ標準的なカリキュラムとは所要時間が異なる。